経済学部・学府のオンライン授業に関する学生アンケート調査（2022 年度夏学期終了時）結果報告

経済学研究院オンライン化推進チーム

実施期間：2022 年 7 月 14 日（木）午後～8 月 1 日（月）正午
実施方法：学生ポータルサイト（全学基本メールへの転送を含む）による通知。グーグルフォームによるオンライン・アンケートで実施。
回答数：241 通（回答率：19.4%＜学生ポータルサイト全登録学生数 1,245 に対する割合＞）

アンケート結果の概要

（１）回答者属性とオンライン受講環境

回答者の属性【問 1】については、学部 3・4 年が 30.3%と最も多く、学部 1 年の 22.0%が次いで多かった。

オンライン授業の受講環境【問 2】については、「（実家とは異なる）自宅や寮の個室」と「実家の個室」を合わせた個室で受講している割合が 73.0%（前回調査：88.7%）と最も多かった。前回調査よりも割合が減っているが、その理由としては部局等で対面授業を許可した期間において、ハイフレックス授業や対面授業が増えた結果、「伊都キャンパス内の場所（教室等）」の割合が 15.8%（同：4.7%）へと増えたことが挙げられる。とくに、基幹教育で対面授業が多い、学部 1 年でこの回答割合が 26.4%と高かった。

通信環境【問 3】については、オンライン授業の「受講に全く支障はなかった」が 63.9%（同：65.8%）、「受講にたまに支障があった」が 29.9%（同：31.6%）であり、前回調査よりも若干減った。この理由としては、前年度までよりもハイフレックス授業が増えたことにより、通信環境に関する認識が高くなったことが考えられる。

Moodle へのアクセス状況【問 4】については、「全く支障なくアクセスできていた」が 32.8%（同：70.5%）、「ごくたまにアクセスできないことがあった」が 25.3%（同：25.3%）であった一方で、「時間帯によってはアクセスできないことがあった」が 39.0%（同：3.7%）であり、前回調査と比べてアクセス状況が明らかに悪化している。なかでも、基本科目で大人数科目を受講する学部 2 年では、うち 58.8%がこの項目を選択している。

（２）オンデマンド授業および Zoom によるリアルタイム授業の評価

オンデマンド授業と Zoom によるリアルタイム授業について、前回調査と同じく理解度、満足度、および学生対応について質問した。なお前回調査と同じく、Zoom によるリアルタイム授業については、対面授業と同時実施されたハイフレックス授業を Zoom で受講している場合も含んでいる。

まず、オンデマンド授業を取り上げる。理解度【問 5】については、「全体的にしっかり理解できた」と「全体的にまあまあ理解できた」を合わせた好意的な評価が 86.3%（前回調査：86.3%）であり、前回調査と同じであった。なかでも、学府（除 QBS と QBS ともに）で「全体的にしっかり理解できた」の割合が高く、これも前回調査と同じ傾向であった。

満足度【問 6】については、「とても満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた好意的な評価が 79.3%（同：76.9%）得ており、前回調査よりも上回った。なかでも、学部 2 年と学府（QBS）で「とても満足している」の割合が高い。このうち、学部 2 年は前回調査では全体を下回ったので、大きな改善が見られる。

授業準備と学生対応【問 7】については、「とてもよかった」と「まあまあよかった」を合わせた好意的な評価が 76.4%（同：71.9%）であり、こちらも前回調査よりも上回った。なかでも、学府（除 QBS と QBS ともに）で「とてもよかった」の割合が高く、このうち学府（除 QBS）は前回調査と同じ傾向であった。他方で、学部 3・4 年については「普通」が 24.7%を占めており、相対的に高い割合となっている。これは前回調査において、この学年が学部 2 年であった時と同じ傾向であった。

次に、Zoom によるリアルタイム授業を取り上げる。理解度【問 8】については、「全体的にしっかり理解できた」と「全体的にまあまあ理解できた」を合わせた好意的な評価が 88.4%（前回調査：80.0%）、前回調査を上回った。なかでも、学府（QBS）と学部 2 年で「全体的にしっかり理解できた」の割合が高い。このうち、学部 2 年は前回調査では全体を下回ったので、大きな改善が見られる。

満足度【問 9】については、「とても満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた好意的な評価が 80.9%（同：69.8%）であり、こちらも前回調査を上回った。なかでも、学府（除 QBS と QBS ともに）で「とても満足している」の割合が高く、これは前回調査と同じ傾向であった。

授業準備と学生対応【問 10】については、「とてもよかった」と「まあまあよかった」を合わせた好意的な評価が 78.0%（同：67.1%）で、こちらも前回調査を上回った。なかでも、学府（除 QBS と QBS ともに）で「とてもよかった」の割合が高く、これは前回調査と同じ傾向であった。

最後に、前回調査の結果において、Zoom によるリアルタイム授業の評価が低くなった理由の 1 つとして、学部のうち 2 年以上における、講義系科目と演習系科目との間での評価の違いが考えられたことから、このことを質問する問いを【問 11】で新たに設けた。

「大人数科目（講義系科目）と少人数科目（演習系科目）との間に違いはない」が 65.5%であった一方で、「少人数科目のほうがより高い理解度、満足度、評価である」も 25.2%であった。なかでも、学部 3・4 年では後者の割合が 32.4%となった。

（３）新型コロナ下における授業形態に関する評価

経済学部・学府では新型コロナウイルスの感染状況だけでなく、これまでの学生アンケート調査の結果等も踏まえながら、他学部・学府よりも積極的にオンライン授業を展開してきた。このような経済学部・学府の授業形態について、前回調査と同様に質問した【問 12】。

「とても適切であった」と「まあまあ適切であった」を合わせた好意的な評価が 85.9%（前回調査：83.9%）であり、前回調査を上回った。また、前回調査では属性間で大きな違いが一部で見られたが、今回調査では見られなかった。

（４）オンライン授業に関する改善要望等

前回調査と同様に、オンライン授業に対する改善要望等を質問した【問 13】。回答の概要は以下の通りである。なお、回答の分類については、内容の変化を踏まえて前回調査から一部変更した。また、今後における改善に資するために、今回調査より回答者の属性も並記した。

まず、前回調査までと同じく、授業形態については数多くの要望等が寄せられた。オンライン授業について、大人数科目や演習系科目以外では進めてほしいこと（授業形態①～②）、ハイフレックス授業を増やしてほしいこと（授業形態③）、オンデマンド授業を増やしてほしいこと（授業形態④）がそれぞれ出された。他方で、受講環境などを理由として、対面授業を増やしてほしいとするもの（授業形態⑤～⑥）や、これまで展開してきたオンライン授業に対する批判的な意見もあった（授業形態⑦）。また、感染状況が落ち着いていた学期途中では、対面授業を増やした場面もあったが、このような変更や対面授業とオンライン授業との混在について意見が出された（授業形態⑧～⑩）。さらに、陽性者や濃厚接触者となった場合の対応に関する問題（授業形態⑪）や、この問題への対応策としても参考になる授業の情報（授業形態⑫）も出された。最後に、入門科目に関する受講者数について意見が出された（授業形態⑬）。

成績評価については、これまでよりも回答数は少なかったが、内容としては同じく、レポート課題について提出期間が重なることや、また提出数が多いことによって負担が大きくなっていることが、意見として出された（成績評価①～②）。

情報提供については、オンライン授業に関することと全体的なことに分けられる。このうち、オンライン授業に関することとしては、すべての授業について録画情報の提供を求めているもの（情報提供①）、リアルタイム授業についても録画情報が役立ったこと（情報提供②）、録画情報の視聴速度についての要望（情報提供③）、ホワイトボードや Zoom のチャットに記述された情報の共有方法についての要望（情報提供④）がそれぞれ出された。他方で全体的なこととしては、情報提供について受講者全員への一斉送信も求めているもの（情報

提供⑤)、より早い段階での情報提供を求めているもの（情報提供⑥)、Moodle のアクセス障害を理由として、メールでも Zoom のアクセスリンクの提供を求めているもの（情報提供⑦）がそれぞれ出された。

Moodle については、【問 4】の結果と一致するような、アクセスの改善を求める意見が出された（Moodle①～②)。

前期では対面授業の比率をこれまでよりも増やしたことによって、時間割に関する意見も複数出された。オンライン授業と対面授業が続くことで、結局オンライン授業の時限から来学しないといけないこと（時間割①～②）や、オンデマンド授業の開講時限（時間割③）について、それぞれ意見が出された。

最後にその他の意見として、院生研究室におけるマスクの着用について（その他①)、担当教員間でのオンラインスキルの違いについて（その他②)、およびマイク音（その他③）について出された。

（５）伊都キャンパスへの通学頻度＜学部２年以上のみ対象＞

今回調査では、学部のうち 2 年以上を対象として、通学頻度をめぐる現状と希望、および後者の理由を質問する問いを新たに設けた。経済学研究院では、コロナ禍においてオンライン授業を積極的に推進するなかで、教育ニーズや教育効果をタイムリーに把握および検証するために、これまで頻度多く学生アンケート調査を実施してきた。そのなかで、とくに伊都キャンパスに通学する学部生のうち、専攻教育科目の授業が多くなる学部のうち 2 年以上の間で、通学頻度に対する考え方に違いがあることに注目してきたことが、この問いを設けた背景としてある。

まず、前期（春学期・夏学期を含む）における伊都キャンパスへの通学頻度について質問した【問 14】。「週 2・3 日」が 52.4%と最も多かったが、内訳では学部 2 年は 64.7%であった一方で、学部 3・4 年は 43.8%であり、学年によって異なっていた。この違いは「週 1 日」の回答結果にも反映されており、全体では 29.8%で「週 2・3 日」に次いで多かったが、内訳では学部 2 年は 21.6%であった一方で、学部 3・4 年は 35.6%であった。他方で、「ほぼ毎日」については学年による違いはほとんどなく、全体で 12.1%、内訳では学部 2 年は 11.8%、学部 3・4 年は 12.3%であった。

次に、新型コロナの感染状況に関係なく、望ましいと思っている伊都キャンパスへの通学頻度について質問した【問 15】。「現時点と同じ頻度でよい」が 56.5%と最も多く、内訳では学部 2 年で 52.9%、学部 3・4 年で 58.9%であり、それほど大きな違いはなかった。

次いで多かった「現時点よりも頻度を減らしたい」は 21.8%であったが、内訳では学部 2 年が 33.3%であった一方で、学部 3・4 年は 13.7%に留まった。他方で、「現時点よりも頻度を増やしたい」は 16.9%であったが、内訳では学部 2 年で 9.8%に留まった一方で、学部 3・4 年で 21.9%と違いが見られた。

【問 14】と【問 15】の結果をクロス集計すると、次のような結果が得られた。現時点の通学頻度が「ほぼ毎日」については、うち 80.0%が望ましいと思っている通学頻度について、「現時点と同じ頻度でよい」と回答した。次に、現時点の通学頻度が「週 2・3 日」については、うち 53.8%が「現時点と同じ頻度でよい」を、30.8%が「現時点よりも頻度を減らしたい」を、そして 15.4%が「現時点よりも頻度を増やしたい」を、それぞれ望ましいと思っている通学頻度として回答した。最後に、現時点の通学頻度が「週 1 日」である回答者については、うち 51.4%が「現時点と同じ頻度でよい」を、29.7%が「現時点よりも頻度を増やしたい」を、そして 8.1%が「現時点よりも頻度を減らしたい」を、それぞれ望ましいと思っている通学頻度として回答した。

以上の結果をまとめると、現時点でほぼ毎日通学している学生は、現状維持を望んでいる一方で、週 2・3 日の学生は現時点よりも頻度を減らすことを、他方で週 1 日の学生は現時点よりも通学頻度を増やすことを、それぞれ主に望んでいることが分かった。

さらに、望ましいと思っている通学頻度について、その理由を質問した【問 15】。まず、学年を問わず多く挙げられた理由には、通学頻度を減らす理由として捉えられる「通学にかかる（金銭的、時間的）コストが大きいから」があり、全体で 50.0%、内訳では学部 2 年が 54.9%、学部 3・4 年が 46.6%であった。これに次いで多く挙げられた理由には、これも通学頻度を減らす理由として捉えられる「オンライン授業で（対面授業と同じ程度、あるいは対面授業よりも）理解・満足できるから」があり、全体で 45.2%、内訳では学部 2 年で 51.0%、学部 3・4 年で 41.1%であった。

他方で、学年によって異なる状況も見られる。まず、通学頻度を増やす理由として捉えられる「対面授業を受けたいから」、「友人をつくりたいから・友人との時間を過ごしたいから」、および「キャンパス内の施設（教室、図書館等）を利用したいから」については、学部 3・4 年の回答率が高かった。その一方で、通学頻度を減らす理由として捉えられる学外活動については、「アルバイトと両立したいから」と「アルバイトや就職活動以外の活動（資格取得、ボランティア、起業等）と両立したいから」は学部 2 年の回答率が、また「就職活動と両立したいから」は学部 3・4 年の回答率が、それぞれ相対的に高かった。同じく通学頻度を減らす理由として捉えられる「卒業に必要な単位をおおよそ履修したから」は、学部 3・4 年の回答率が相対的に高かった。

【問 15】と【問 16】の結果をクロス集計すると、次のような結果が得られた。望まし

いと思っている通学頻度について「現時点と同じ頻度でよい」と回答した者については、うち 58.6%が通学頻度を減らす理由として捉えられる「通学にかかる（金銭的、時間的）コストが大きいから」を、42.9%が同じく減らす理由として捉えられる「オンライン授業で（対面授業と同じ程度、あるいは対面授業よりも）理解・満足できるから」を、それぞれ理由として選んでいた。他方で、34.3%が通学頻度を増やす理由として捉えられる「キャンパス内の施設（教室、図書館等）を利用したいから」を選んでいた。

次に、望ましいと思っている通学頻度について「現時点よりも頻度を増やしたい」と回答した者については、うち 52.4%が「友人をつくりたいから・友人との時間を過ごしたいから」と「キャンパス内の施設（教室、図書館等）を利用したいから」を、またうち 47.6%が「対面授業を受けたいから」を選んでいたが、これらはいずれも通学頻度を増やす理由として捉えられるものである。最後に、望ましいと思っている通学頻度について「現時点よりも頻度を減らしたい」と回答した者については、うち 85.2%が「オンライン授業で（対面授業と同じ程度、あるいは対面授業よりも）理解・満足できるから」を、また 77.8%が「通学にかかる（金銭的、時間的）コストが大きいから」を選んでいたが、これらはいずれも通学頻度を減らす理由として捉えられるものである。

その他の理由について、自由記述で問いを設けていたが【問 17】、これについては学部 2 年および学部 3・4 年に該当する者からの有効回答はなかった。

経済学部・学府のオンライン授業に関する学生アンケート調査（2022 年度夏学期終了時）
集計結果

回答数：241 通

問 1. あなたの所属をお知らせください。

学部 1 年	学部 2 年	学部 3・4 年	学府 （除 QBS）	学府 （QBS）	その他	合計
53 (22.0%)	51 (21.2%)	73 (30.3%)	24 (10.0%)	34 (14.1%)	6 (2.5%)	241 (100.0%)

問 2. 経済学部・学府が提供したオンライン授業を、どこで受講していることが多かったですか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。（なお、「オンライン授業」には、オンデマンド授業と Zoom によるリアルタイム授業の両方を含み、さらにハイフレックス授業に Zoom でオンライン受講した場合も含みます。）

１．伊都キャンパス内の場所（教室等）
２．（実家とは異なる）自宅や寮の個室
３．実家の個室
４．実家の共用スペース
５．寮の共用スペース
６．九州大学博多駅オフィス内の場所
７．勤務先内の場所
８．カフェテリア等の商業施設や近所の図書館等の公共施設
９．その他

項目	学部 1 年	学部 2 年	学部 3・4 年	学府（除 QBS）	学府 （QBS）	その他	合計
1	14 (26.4%)	3 (5.9%)	6 (8.2%)	10 (41.7%)	1 (2.9%)	4 (66.7%)	38 (15.8%)
2	25 (47.2%)	34 (66.7%)	38 (52.1%)	10 (41.7%)	12 (35.3%)	1 (16.7%)	120 (49.8%)
3	8 (15.1%)	10 (19.6%)	24 (32.9%)	3 (12.5%)	11 (32.4%)	0 (0.0%)	56 (23.2%)
4	2 (3.8%)	3 (5.9%)	3 (4.1%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	1 (16.7%)	10 (4.1%)

5	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
6	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (23.5%)	0 (0.0%)	8 (3.3%)
7	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)
8	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
9	4 (7.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	5 (2.1%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問 3. オンライン授業を受講していた時の通信環境は、どうでしたか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

１．受講に全く支障はなかった
２．受講にたまに支障があった
３．受講にたびたび支障があった
４．（ほとんど、あるいはまったく）受講しなかったので分からない

項目	学部 1 年	学部 2 年	学部 3・4 年	学府 (除 QBS)	学府 (QBS)	その他	合計
1	37 (69.8%)	34 (66.7%)	45 (61.6%)	17 (70.8%)	17 (50.0%)	4 (66.7%)	154 (63.9%)
2	8 (15.1%)	17 (33.3%)	24 (32.9%)	6 (25.0%)	15 (44.1%)	2 (33.3%)	72 (29.9%)
3	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.7%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.2%)
4	8 (15.1%)	0 (0.0%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)	12 (5.0%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問 4. Moodle へのアクセスは、どの程度円滑でしたか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

1．全く支障なくアクセスできていた
2．ごくたまにアクセスできないことがあった
3．時間帯によってはアクセスできないことがあった
4．時間帯に限らずアクセスできないことが多かった
5．Moodle に（ほとんど、あるいはまったく）アクセスしなかったので分からない

項目	学部 1 年	学部 2 年	学部 3・4 年	学府（除 QBS）	学府（QBS）	その他	合計
1	15 (28.3%)	4 (7.8%)	18 (24.7%)	14 (58.3%)	26 (76.5%)	2 (33.3%)	79 (32.8%)
2	11 (20.8%)	17 (33.3%)	24 (32.9%)	2 (8.3%)	6 (17.6%)	1 (16.7%)	61 (25.3%)
3	21 (39.6%)	30 (58.8%)	31 (42.5%)	8 (33.3%)	2 (5.9%)	2 (33.3%)	94 (39.0%)
4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5	6 (11.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	7 (2.9%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問 5. 経済学部・学府が提供したオンライン授業のうち、オンデマンド授業（Moodle 等を通して、文字情報や音声情報、あるいは録画情報等を提供する授業）全般について、どの程度理解できましたか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

1．全体的にしっかり理解できた
2．全体的にまあまあ理解できた
3．全体的にあまり理解できなかった
4．全体的にほとんど理解できなかった
5．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講しなかったので分からない

項目	学部 1 年	学部 2 年	学部 3・4 年	学府（除 QBS）	学府（QBS）	その他	合計
1	20 (37.7%)	22 (43.1%)	27 (37.0%)	14 (58.3%)	19 (55.9%)	3 (50.0%)	105 (43.6%)

2	19 (35.8%)	25 (49.0%)	39 (53.4%)	6 (25.0%)	12 (35.3%)	2 (33.3%)	103 (42.7%)
3	1 (1.9%)	2 (3.9%)	3 (4.1%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (2.9%)
4	0 (0.0%)	1 (2.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)
5	13 (24.5%)	1 (2.0%)	3 (4.1%)	3 (12.5%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	21 (8.7%)
無効	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	1 (16.7%)	3 (1.2%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問6. 経済学部・学府が提供したオンデマンド授業全般について、どの程度満足ですか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

１．とても満足している
２．まあまあ満足している
３．（満足と不満足の）どちらでもない
４．あまり満足していない
５．まったく満足していない
６．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講しなかったので分からない

項目	学部 1年	学部 2年	学部 3・4年	学府 (除QBS)	学府 (QBS)	その他	合計
1	18 (34.0%)	31 (60.8%)	24 (32.9%)	9 (37.5%)	18 (52.9%)	4 (66.7%)	104 (43.2%)
2	18 (34.0%)	13 (25.5%)	35 (47.9%)	10 (41.7%)	10 (29.4%)	1 (16.7%)	87 (36.1%)
3	3 (5.7%)	5 (9.8%)	7 (9.6%)	1 (4.2%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)	18 (7.5%)
4	1 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (4.1%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	5 (2.1%)
5	0 (0.0%)	1 (2.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)

6	13 (24.5%)	1 (2.0%)	3 (4.1%)	3 (12.5%)	3 (8.8%)	1 (16.7%)	24 (10.0%)
無効	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問7. 経済学部・学府が提供したオンデマンド授業全般について、教員による授業の準備や、学生からの質問や相談等への対応は、どのように評価していますか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

1．とてもよかった
2．まあまあよかった
3．普通
4．あまりよくなかった
5．まったくよくなかった
6．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講しなかったので分からない

項目	学部 1年	学部 2年	学部 3・4年	学府 (除QBS)	学府 (QBS)	その他	合計
1	18 (34.0%)	23 (45.1%)	24 (32.9%)	13 (54.2%)	17 (50.0%)	4 (66.7%)	99 (41.1%)
2	19 (35.8%)	20 (39.2%)	27 (37.0%)	7 (29.2%)	11 (32.4%)	1 (16.7%)	85 (35.3%)
3	3 (5.7%)	7 (13.7%)	18 (24.7%)	1 (4.2%)	3 (8.8%)	0 (0.0%)	32 (13.3%)
4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
5	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6	13 (24.5%)	1 (2.0%)	3 (4.1%)	3 (12.5%)	3 (8.8%)	1 (16.7%)	24 (10.0%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問8. 経済学部・学府が提供したオンライン授業のうち、Zoomによるリアルタイム授業（時

間割と同じ曜日・時限に行われていた授業。ハイフレックス授業に、Zoom でオンライン受講した場合も含む。）全般について、どの程度理解できましたか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

１．全体的にしっかり理解できた
２．全体的にまあまあ理解できた
３．全体的にあまり理解できなかった
４．全体的にほとんど理解できなかった
５．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講しなかったので分からない

項目	学部 1 年	学部 2 年	学部 3・4 年	学府 (除 QBS)	学府 (QBS)	その他	合計
1	17 (32.1%)	25 (49.0%)	15 (20.5%)	11 (45.8%)	22 (64.7%)	3 (50.0%)	93 (38.6%)
2	24 (45.3%)	20 (39.2%)	51 (69.9%)	12 (50.0%)	11 (32.4%)	2 (33.3%)	120 (49.8%)
3	2 (3.8%)	4 (7.8%)	4 (5.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (4.1%)
4	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
5	10 (18.9%)	1 (2.0%)	3 (4.1%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	16 (6.6%)
無効	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問 9. 経済学部・学府が提供した Zoom によるリアルタイム授業全般について、どの程度満足していますか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

１．とても満足している
２．まあまあ満足している
３．（満足と不満足の）どちらでもない
４．あまり満足していない
５．まったく満足していない
６．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講しなかったので分からない

項目	学部 1年	学部 2年	学部 3・4年	学府 (除QBS)	学府 (QBS)	その他	合計
1	18 (34.0%)	24 (47.1%)	18 (24.7%)	15 (62.5%)	23 (67.6%)	2 (33.3%)	100 (41.5%)
2	21 (39.6%)	17 (33.3%)	38 (52.1%)	7 (29.2%)	10 (29.4%)	2 (33.3%)	95 (39.4%)
3	4 (7.5%)	4 (7.8%)	11 (15.1%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (8.3%)
4	0 (0.0%)	4 (7.8%)	3 (4.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (2.9%)
5	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
6	10 (18.9%)	1 (2.0%)	3 (4.1%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	16 (6.6%)
無効	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	1 (16.7%)	2 (0.8%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問 10. 経済学部・学府が提供した Zoom によるリアルタイム授業全般について、教員による授業の準備や学生からの質問や相談等への対応は、どのように評価していますか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

1．とてもよかった
2．まあまあよかった
3．普通
4．あまりよくなかった
5．まったくよくなかった
6．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講しなかったので分からない

項目	学部 1年	学部 2年	学部 3・4年	学府 (除QBS)	学府 (QBS)	その他	合計
1	22 (41.5%)	23 (45.1%)	22 (30.1%)	14 (58.3%)	21 (61.8%)	3 (50.0%)	105 (43.6%)

2	16 (30.2%)	15 (29.4%)	31 (42.5%)	8 (33.3%)	11 (32.4%)	2 (33.3%)	83 (34.4%)
3	4 (7.5%)	10 (19.6%)	17 (23.3%)	1 (4.2%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	33 (13.7%)
4	1 (1.9%)	2 (3.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.2%)
5	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6	10 (18.9%)	1 (2.0%)	3 (4.1%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	16 (6.6%)
無効	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問 11. 【問 8 から問 10 に回答した経済学部・2 年生以上のみ】問 8 から問 10 で回答した内容について、大人数科目（講義系科目）と少人数科目（演習系科目）との間で、違いはありますか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

１．少人数科目のほうがより高い理解度、満足度、および評価である
２．大人数科目と少人数科目との間に違いはない
３．少人数科目のほうがより低い理解度、満足度、および評価である
４．授業を（ほとんど、あるいはまったく）受講しなかったので分からない

属性	1	2	3	4	無回答	合計
学部 2 年	7 (14.6%)	36 (75.0%)	2 (4.2%)	0 (0.0%)	3 (6.3%)	48 (100.0%)
学部 3・4 年	23 (32.4%)	42 (59.2%)	1 (1.4%)	2 (2.8%)	3 (4.2%)	71 (100.0%)
合計	30 (25.2%)	78 (65.5%)	3 (2.5%)	2 (1.7%)	6 (5.0%)	119 (100.0%)

問 12. 新型コロナの感染状況等を踏まえた経済学部・学府の授業形態（ホームページや Campusmate で通知）について、どのように評価していますか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

1．とても適切であった
2．まあまあ適切であった
3．（適切と不適切の）どちらでもない
4．あまり適切ではなかった
5．まったく適切ではなかった
6．通知内容を把握していなかったので分からない

項目	学部 1 年	学部 2 年	学部 3・4 年	学府（除 QBS）	学府（QBS）	その他	合計
1	21 (39.6%)	19 (37.3%)	20 (27.4%)	11 (45.8%)	14 (41.2%)	4 (66.7%)	89 (36.9%)
2	29 (54.7%)	20 (39.2%)	41 (56.2%)	11 (45.8%)	15 (44.1%)	2 (33.3%)	118 (49.0%)
3	1 (1.9%)	7 (13.7%)	11 (15.1%)	2 (8.3%)	4 (11.8%)	0 (0.0%)	25 (10.4%)
4	2 (3.8%)	4 (7.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	7 (2.9%)
5	0 (0.0%)	1 (2.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)
6	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	53 (100.0%)	51 (100.0%)	73 (100.0%)	24 (100.0%)	34 (100.0%)	6 (100.0%)	241 (100.0%)

問 13. 経済学部・学府が提供したオンライン授業に対して、改善してほしいことや要望したいことがあれば、自由に述べてください。オンライン授業全般だけでなく、個別の授業に関する意見等でも結構です。

分類項目	属性	回答（読みやすくするために、一部加筆修正を施した。）
授業形態①	学部（2 年）	今後も大人数科目はオンラインで対応していただきたいです。
授業形態②	学部（3・4 年）	ゼミ以外は全面オンラインでお願いしたいです。
授業形態③	学部（2 年）	ハイフレックス授業を増やしてほしい。
授業形態④	学部（3・4 年）	オンデマンド授業を増やしてほしい。

授業形態⑤	学部（2 年）	一方通行型の授業だと、どうしても自宅の環境だと集中できないので、対面授業を増やしてほしい。
授業形態⑥	学府（QBS）	原則対面授業にしてほしい。教室でパソコンにヘッドフォンをつけて受講すると、ハイフレックスといっても結局オンラインになる。対面のよさが失われている。教室に来る意義がなくなっている。
授業形態⑦	学部（3・4 年）	いい加減にオンライン授業はやめませんか？心底イライラしています。入学してここまでずっとオンライン授業ばかり。いまだに過半数の講義でオンライン形態をとっているのは、経済学部だけではないでしょうか。いつまで自粛するつもりですか？対面授業をしても問題ないように、対策を準備する期間はもう 2～3 年ありましたよね。
授業形態⑧	学部（2 年）	シラバスにはオンライン授業と書かれていたのに、前期の途中から出席を取る対面に切り替えていた授業があったが、学期途中から授業形態を強制的に変えるのは予定がずれてしまったりするので、できればやめてほしいです。
授業形態⑨	学部（2 年）	オンラインで開講していた講義が、学期途中から急遽対面のみに変更されるのは、通学手段等の関係から困る。また、オンラインの比率が高すぎて、通学する日程が少なすぎて、学内施設などを積極的に利用しづらいので、改善して頂きたい。（経済学部の授業があるために、登校するのは週 2 日以下でした。）
授業形態⑩	学府（QBS）	オンラインとオフラインが混在していると、受講することが難しいことがあるので、授業規模や形態などの違いはあっても、足並みをそろえた方が良いと思いました。ハイフレックス型は個人的にあまり好きではありません。
授業形態⑪	学部（3・4 年）	対面のみの大人数の科目があったのですが、濃厚接触者になった人や軽症の人など、大学に行くことができないけれど授業は受けられる状態の人に対する措置がなく、不公平に感じた。対面と Zoom のリアルタイム授業のハイフレックス型の授業にするか、オンデマンド型などの場所や時間を問わず視聴できる形か、いずれかにしてほしい。

授業形態⑫	学部（2 年）	経済史Ｉの授業の形態（対面授業とオンライン授業の併用で動画も残す）がとても良かったと思う。対面で受けることで友達との交流もあるし、動画が残っていることで対面では間に合わなかった部分の理解もよく深めることができた。他の授業はどちらか片方の形態であったり、動画が消えるのが早かったりしたので、全ての授業でそうして欲しい。
授業形態⑬	学部（1 年）	経済学入門などの必修科目が、往々にして受講した授業の中で最も人数が多い。必修授業なので、もう少し少人数にしても良いと思う。
成績評価①	学部（3・4 年）	どの科目も成績評価が期末レポートに偏り、提出締め切りが近い。対面での試験参加が難しい人はレポートで代替するなど、Moodle や対面での試験も行わないと、レポートの負担が大きくなってしまう。
成績評価②	学部（3・4 年）	レポートについて、他の授業との兼ね合い等も考慮してほしい。今回の期末に関してはテスト 2 つ、レポート 8 つだったが、レポートの負担が重たすぎる。
情報提供①	学部（3・4 年）	どのような理由であれ、すべての授業録画を公開してほしい。
情報提供②	学部（2 年）	ライブ授業の後、動画を配信する形態の授業が復習にとても役だった。これからもぜひ継続していただけたら嬉しい。
情報提供③	学部（2 年）	自宅で対面授業の録画を見るとテンポが悪く感じるので、倍速再生できるようにしてほしい。
情報提供④	学府（QBS）	欠席時に Classtream の録画授業が大変役に立って良かったです。ただ、ホワイトボードに書かれた文字の画面を拡大できないため、何を書かれていたのか、また授業中のチャットに記載されたコメントが見れなかったので、板書の画面キャプチャやチャットの履歴を別途保存し、共有して頂けると尚有益であると思います。また、通常リアル参加の学生について、理由があってオンライン参加の場合、先生に事前連絡する必要がありますが、事前連絡しなくともどちらでも自由に選んで参加できるようにして頂けると、有難いです。

情報提供⑤	学部（3・4 年）	テストの中止や授業形態の変更など、変化が多いタイミングでの授業であったので、Moodle 上での表示アナウンスだけではなく、一斉送信メッセージでもいいので、メッセージが欲しい。テスト中止のアナウンスを、当日に気づくこともあったので。
情報提供⑥	学府（QBS）	より早期での情報発信を希望します。
情報提供⑦	学部（2 年）	九大の Moodle に時間によってはアクセスができなく、ズームのリンクから講義に参加することが困難なことがあるため、キャンパスメイトにリンクを記載したり、メールでリンクを送ったりしてほしいです。
Moodle①	学部（1 年）	対面授業において Moodle に接続して出欠をとる際に、中々繋がらない。
Moodle②	学部（3・4 年）	Moodle で実施のテストの際、Moodle に入れなくて問題が見られなかったり、重くて操作に支障が出たことが度々あるので、Moodle の改善をしていただきたいです。
オンラインツール①	学府（QBS）	ハイフレックス授業の際、会場のホワイトボードやスクリーンを映しているカメラがあればより分かりやすいと思います。
オンラインツール②	学府（QBS）	Zoom のチャット(授業で利用する URL 内での会話)は、授業後にアクセス不可になるので、授業後にも参照できるよう改善を求めたい。
オンラインツール③	学部（1 年）	ハイフレックス授業でグループワークをするときに、周りのグループの声が聞こえて、同じグループの人の声が聴きにくかった。
オンラインツール④	学府（QBS）	ハイフレックス授業でグループディスカッションを行う際に、教室から参加している人のマイクが周りの音を拾ってしまって、会話にならないケースが散見された。対策として、単志向性のマイクの推奨品を学生に案内するなどされていると良いと思う。
時間割①	学部（2 年）	オンライン授業と対面授業が連続することがあったので、改善して欲しい。
時間割②	学部（3・4 年）	対面で行われる授業とオンラインで行われる授業の兼ね合いを考えた時間割を組むことができるようにしてほしいと思いました。

時間割③	学部（2 年）	オンデマンド授業を行うのなら 5 限目や集中講義扱いにするなどして、受講できる講義の自由度を上げてほしい。
その他①	学府（除 QBS）	授業に関する話とはずれてしまうかもしれませんが、院生研究室で授業を受講する･研究活動をするうえで、室内に他の人が居てもマスクを着用しない人が多く、部屋を使いづらいです。感染リスクを考えると他の場所で受講せざるを得ず不便に感じていますが、こちらからは指摘しづらいため、個人や学部・学府を特定しない形で注意喚起をしていただけるとありがたいです。
その他②	学府（QBS）	講師ごとに IT リテラシーに大きな差があると感じました。リテラシーの高い方の授業はスムーズで活発になる一方、その逆もあります。
その他③	学府（QBS）	先生のマイク音が聞きつらいことが、ときどきあります。

問 14.【経済学部・2 年生以上のみ回答】前期（春学期・夏学期を含む）における伊都キャンパスへの通学頻度は、どの程度でしたか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。なお、学期で異なる場合は、平均した頻度のもので選択してください。

1．ほぼ毎日
2．週 2・3 日
3．週 1 日
4．月のうち数日
5．（ほとんど、あるいはまったく）通学しなかった

属性	1	2	3	4	5	無回答	合計
学部 2 年	6 (11.8%)	33 (64.7%)	11 (21.6%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	51 (100.0%)
学部 3・4 年	9 (12.3%)	32 (43.8%)	26 (35.6%)	4 (5.5%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)	73 (100.0%)
合計	15 (12.1%)	65 (52.4%)	37 (29.8%)	5 (4.0%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	124 (100.0%)

問 15.【経済学部・2 年生以上のみ回答】（新型コロナに関係なく）望ましいと考えている伊都キャンパスへの通学頻度は、問 14 で回答した現時点のものと比べてどうですか？　＜最も当てはまる数字＞の項目を選択してください。

１．現時点と同じ頻度でよい
２．現時点よりも頻度を増やしたい
３．現時点よりも頻度を減らしたい
４．分からない

属性	1	2	3	4	無回答	合計
学部 2 年	27 (52.9%)	5 (9.8%)	17 (33.3%)	2 (3.9%)	0 (0.0%)	51 (100.0%)
学部 3・4 年	43 (58.9%)	16 (21.9%)	10 (13.7%)	3 (4.1%)	1 (1.4%)	73 (100.0%)
合計	70 (56.5%)	21 (16.9%)	27 (21.8%)	5 (4.0%)	1 (0.8%)	124 (100.0%)

＜問 14 とのクロス集計：ただし、問 14 の無回答を除く＞

通学頻度	1	2	3	4	合計
ほぼ毎日	12 (80.0%)	0 (0.0%)	3 (20.0%)	0 (0.0%)	15 (100.0%)
週 2・3 日	35 (53.8%)	10 (15.4%)	20 (30.8%)	0 (0.0%)	65 (100.0%)
週 1 日	19 (51.4%)	11 (29.7%)	3 (8.1%)	4 (10.8%)	37 (100.0%)
月のうち 数日	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
通学しな かった	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
合計	70 (56.9%)	21 (17.1%)	27 (22.0%)	5 (4.1%)	123 (100.0%)

問 16.【経済学部・2 年生以上のみ回答】問 15 の回答理由として、何が挙げられますか？＜当てはまる数字すべて＞の項目を選択してください。

１．対面授業を受けたいから
２．友人をつくりたいから・友人との時間を過ごしたいから
３．キャンパス内の施設（教室、図書館等）を利用したいから
４．キャンパスで行われる部活動、サークル活動、イベント等に参加したいから
５．通学にかかる（金銭的、時間的）コストが大きいから
６．アルバイトと両立したいから
７．就職活動と両立したいから
８．アルバイトや就職活動以外の活動（資格取得、ボランティア、起業等）と両立したいから
９．オンライン授業で（対面授業と同じ程度、あるいは対面授業よりも）理解・満足できるから
１０．卒業に必要な単位をおおよそ履修したから
１１．その他（問 17 へ）

属性	1	2	3	4	5	6
学部 ２年	6 (11.8%)	9 (17.6%)	11 (21.6%)	8 (15.7%)	28 (54.9%)	11 (21.6%)
学部 ３・４年	14 (19.2%)	18 (24.7%)	24 (32.9%)	11 (15.1%)	34 (46.6%)	4 (5.5%)
合計	20 (16.1%)	27 (21.8%)	35 (28.2%)	19 (15.3%)	62 (50.0%)	15 (12.1%)

属性	7	8	9	10	11	無回答	回答者数
学部 ２年	1 (2.0%)	8 (15.7%)	26 (51.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.9%)	51 (100.0%)
学部 ３・４年	14 (19.2%)	7 (9.6%)	30 (41.1%)	9 (12.3%)	0 (0.0%)	2 (2.7%)	73 (100.0%)
合計	15 (12.1%)	15 (12.1%)	56 (45.2%)	9 (7.3%)	0 (0.0%)	5 (4.0%)	124 (100.0%)

<問 15 とのクロス集計：：ただし、問 15 の無回答を除く＞

通学頻度	1	2	3	4	5	6
現状維持 でよい	10 (14.3%)	15 (21.4%)	24 (34.3%)	15 (21.4%)	41 (58.6%)	10 (14.3%)
より増や したい	10 (47.6%)	11 (52.4%)	11 (52.4%)	4 (19.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

より減らしたい	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (77.8%)	4 (14.8%)
分からない	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
合計	20 (16.3%)	27 (22.0%)	35 (28.5%)	19 (15.4%)	62 (50.4%)	15 (12.2%)

通学頻度	7	8	9	10	11	無回答	回答者数
現状維持でよい	10 (14.3%)	9 (12.9%)	30 (42.9%)	8 (11.4%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	70 (100.0%)
より増やしたい	1 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (100.0%)
より減らしたい	4 (14.8%)	6 (22.2%)	23 (85.2%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	27 (100.0%)
分からない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	5 (100.0%)
合計	15 (12.2%)	15 (12.2%)	56 (45.5%)	9 (7.3%)	0 (0.0%)	4 (3.3%)	123 (100.0%)

問 17.【問 16 で「その他」を選択した経済学部・2 年生以上のみ回答】その他の理由について、自由に述べてください。

該当学年での有効回答はなし